

## 第2学年学級活動（2）学習指導案

日 時 令和7年7月4日（金）  
第5校時 13:25～14:10  
学校名 日野市立平山小学校  
対 象 2年 2組 34名  
会 場 2年 2組 教室  
授業者 T1八木下紗耶（主任教諭）  
T2青木美香（栄養士）

### 1 題材名 「かむを学ぼう」

学級活動（2）エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

### 2 題材のねらい

かむことによる良い効果を知ることで意識的によくかんで食べようとする気持ちをもつことができる。

### 3 題材について

#### （1）児童の実態

本学級の児童は、給食の時間をとても楽しみにしている。進級当初から「今日の給食は何かな。」「早く給食が食べたい。」とつぶやくなど楽しみにし、苦手な野菜も「これぐらいは食べてみる。」と挑戦しながら食べている様子が見られる。しかし、「今日のパン硬いかな。」「これ硬いんだよね。」と献立によっては、不安を訴えるも児童もいる。また、話すことに夢中になり、給食時間の終了際に口一杯に頬張り、慌てて食べているために、しっかりかんで食べているとはいえない様子も見られる。

低学年の児童は歯の生え変わりの時期であることに加え、幼児期から食べやすい食感の食事に慣れているため、よくかむことへの意識が十分に育っていないかたり、硬い食感のものに対する不安感や苦手意識をもっていたりすると考えられる。本時では、かむことの大切さを知ることで、よくかんで食べようとする児童の育成をねらいたい。

#### （2）題材設定の理由

本題材は、よくかむことは体に良い効果があると知ることで、自分の食事の仕方を振り返り、よくかむために自分ができることを考え、望ましい食習慣につなげることをねらいとしている。

本題材では、学校栄養士と連携を図り、専門的な立場から「かむことの大切さ」を教えてもらうことによって、よくかむことが健康な体をつくることにつながることに気付かせたい。それにより、よくかむことの大切さを実感し、よくかんで食べようとする気持ちをもたせたい。

そして、事後の活動である給食の時間は、習慣化を図るための実践の場として、よくかんで食べるよう指導していきたい。

#### 4 第1学年及び2学年の評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
自己の身の回りの諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の身の回りの諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲よくして人間関係を形成しようとしている。

#### 5 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
学習者用端末でかむことについてのアンケートを実施する。	好きな給食の献立や苦手な給食の献立、かむことができているのかなどのアンケートに回答し、結果を共有することでかむことについて課題意識をもてるようとする。	アンケートの結果を聞き、かむことについて関心をもっている。(態度)【観察】

#### 6 研究主題に迫る手だて

##### (1) 個別最適・課題解決

###### ① アンケートによる自己の課題把握 (課題をイラストとともに提示する視覚支援)

事前アンケートの結果に着目することで、自己の課題として問題を捉え、自己の食習慣を見つめられるようになる。また、課題をイラストとともに大型モニターで提示する視覚支援することで、全ての児童が自己の課題を捉えられるようになる。

###### ② 意思決定のためのワークシート

一人一人が自分にあった意思決定ができるようにするために、授業の終末で「自分のめあて」を書くことのできるワークシートを活用する。また、意思決定したことを継続的に実践できるようにするために、1週間程度振り返るようになる。

##### (2) 対話・協働

###### ① 様々な考えに触れるためのペア学習

かむことの大切さを学習した後に自分たちの給食の食べ方を振り返る。そして、よくかんで食べるためには食べ方や時間、食事の内容など、気を付けるとよいことについてペアで話し合い、学級全体で共有する。様々な考えに触ることで、自分のめあてを見付けられるようになる。

## 7 本時

### (1) 本時の目標

かむことの大切さを知ることで、よくかんで食べるための自分のめあてを決め、今後の食事で実践しようとする。

### (2) 本時の展開

	学習内容・学習活動	○指導上の留意点や配慮事項		評価規準
		T 1 (学級担任)	T 2 (栄養士)	
導入 つかむ 8分	<p>1 給食の人気メニューの傾向から自分たちの普段のかみ方の実態を知る。</p> <p>T みんなの好きな献立、苦手な献立はどんなものだったと思いますか。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <p>T 硬い食感の献立は苦手な人がいるから給食からなくしてもよいですか。</p> <p>C ダメだよ！</p> <p>C 栄養が…</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           なぜ、硬いものも食べる必要があるのだろう？         </div> <p>3 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           かむことの秘密を見付け、自分の食べ方を振り返ろう！         </div>	<p>○事前にアンケート入力で回答させる。</p> <p>○軟らかい食べ物を好む傾向であることに気付かせ、題材のねらいに迫るきっかけをつくる。</p>		

展開する見る付ける27分	<p>4 するめをよくかんで食べ、気付いたことをワークシートに書く。</p> <p>T 硬い食べ物をよくかんで食べたら体はどうなるのでしょう。するめをよくかんで確かめてみましょう。</p> <p>C あごが疲れた。</p> <p>C あごや頬の周りが動いていた。</p> <p>C かんでいたら軟らかくなつた。</p> <p>C かんだら味が濃くなつて、ずっとかんでいたら味が薄くなつた。</p> <p>C 唾がたくさん出た。</p>	<p>○かみながら体の動いている場所、唾液の量、味の変化に着目して書けるようなワークシートにする。</p>	<p>○体の動いている場所を確かめている様子や、唾液の量など児童の反応を観察しておく。</p> <p>○するめをよくかんで気付いたことを4つの観点に分けて板書しておき、栄養士のよくかむことの大切さの指導と結び付けていく。</p>	<p>○よくかんで食べるとの大切さについて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳の活性化</li> <li>・消化促進</li> <li>・味覚促進</li> <li>・虫歯予防</li> </ul> <p>○かむ力を育むことを意識した給食の献立を紹介する。</p>
	<p>5 よくかんで食べることの大切さを栄養士から聞く。</p> <p>T するめをよくかんで体に起こったことには理由があるのでしょうか。</p> <div data-bbox="208 1439 552 1602" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 217px; height: 73px;"> <p>硬いものをよくかんで食べることで、体によいことがたくさんある</p> </div>			

	<p>6 よくかんで食べるため にどうしたらよいのか 話し合い、発表する。</p> <p>Tあまりかむことができ いないのには理由がある ようですね。しっかりか むためにはどんな工夫が できるのか話し合いまし よう。</p> <p>Cもぐもぐタイムによくか めばいいんじゃない。</p> <p>C硬いもののときには、3 0回かむのはどう？</p> <p>C食べる時間を長くするに は、準備を早くすればい いね。</p> <p>C硬そうなものでも挑戦し てよくかんで食べるとい いね。</p>	<p>○事前アンケートから 普段あまりかんでい ない人の理由を挙げ て、食べ方や時間、食 事の内容について考 えられるようにする。</p>	
まと め 10 分 き め る	<p>7 これから食べ方につ いて自分のめあてを決 める。</p> <p>T自分の食べ方を振り返っ て、これからの食べ方につ いてめあてを書いてみ ましょう。</p> <p>T書いためあてを発表しま しょう。</p> <p>Cもぐもぐタイムは、食べ ることに集中してよくか みます。</p> <p>C硬いものは30回かんで 食べます。</p> <p>C食べる時間が長くなるよ うに、準備を早くします。</p>	<p>○話合いで出た意見の 中から自分のめあて を決めて給食を食べ、 一週間給食後に振り 返ることを伝える。</p>	<p>○よくかんで 食べるため の自身のめ あてを決 め、今後の 食事で実践 しようとし ている。(態 度) 【ワークシ ート】</p>

(3) 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	評価方法
毎日の給食後に、自分が立てためあてや取組について振り返る。	給食前に取組を意識できるよう声掛けをする。	よくかんで食べるための自身のめあてに、進んで取り組んでいる。(思考・判断・表現) 【ワークシート・観察】

(4) 授業観察の視点

- よくかんで食べるために食べ方や時間、食事の内容など、気を付けるとよいことについてペアで話し合い、学級全体で共有することで、様々な考えに触れることができたか。(対話・協働①)
- ペアで話し合った意見を学級全体で共有することで、自分のめあてを設定することにつながったか。(個別最適・課題解決②)

(5) 板書計画

すきな人がおおい きゅうしょく ・○○ ・○○	かむことのひみつを見つけて、じぶんの食べ方をふりかえろう！			
やわらかいものが多い にがてな人がおおい きゅうしょく ・○○ ・○○	・かんでいると あじがこくなつた	・つばがたくさん出た	・やわらかくなつた	・あごがつかれた ・あごやほほのまわり がうごいていた
硬いものが多い なぜ、かたいものも 食べるひつようが あるのだろう？	あじがよくわかる (イラスト)	むしばのよぼう (イラスト)	えいようになりやすい (イラスト)	のうのはたらきがよく なる (イラスト)
	かたいものをよくかんでたべることで、体によいことがたくさんある			
	よくかむために できることは？			
	・○○○○ ・○○○○ ・○○○○			